



見附市立見附小学校 学校だより

みしよ

No. 306

令和3年2月22日（月）発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~misho/>

地域の学校 地域が学校

校長 松井謙太

学校からの便りやホームページなどで学校の様子をお伝えはしていますが、やはり実際の様子を見ていただくのが一番です。過日は授業参観、学年学級懇談会等にご参加いただきありがとうございます。今回は授業参観、学年学級懇談会等に午前中に二回に分けて授業参観をしたり、児童が下校した午後に懇談会を行ったりするなど、保護者の皆様には不便な方法でしたが、多数の参加を頂き感謝いたします。

参加された保護者の方から、「短い時間だったが懇談会の後に保護者同士の情報交換の場があってよかった。普段思っていることや、心配なことを気軽に話せた。」との声を頂きました。引き続き情報交換が参考になり、参加することが一段と楽しみになるような懇談会を目指したいと思います。



一方で、学校ボランティアを年度当初に募集しましたが、にこにこ学習、読み聞かせ、遠足ボランティア、郷育フェスタへの参加等々感染防止のため実施を見合わせてきたものがありました。平成20年に立ち上げた学校支援地域本部(現在は地域学校協働本部)や学校支援ボランティア組織は、少しずつ形を変えながらも「地域が学校 地域の学校」を体現するものとして見附小学校の教育活動を豊かにしてきてくださった組織です。学校としては感染防止のガイドラインを堅持しつつ、諸活動の再開に向けた今後の見通しについて、学校ボランティアの皆様にご協力をお願いいたします。

学校緊急メールでもお知らせしたように、1月21日、22日と二日続けて、下校中の児童に通過する車両が接触する事案がありました。保護者から連絡を受けた学校は警察に連絡して対応してもらい、一台は特定することができました。学校でも改めて冬道の歩行について全校児童に指導しました。このことについて地域からも除雪の在り方等関係者に連絡を取ってくださったことを後日知りました。このようにコミュニティや安全見守りパトロールをはじめ多くの皆様から、児童の地域生活の様子を見守っていただいていることに改めて感謝いたします。



ティロントイロン ……



本年度から年に数回緊急地震速報を使った避難訓練を実施しています。地震発生時にテレビで流れる「ティロントイロン」という音を使い、児童が自分で判断して、ものが倒れてこない、落ちてこない場所に身を寄せて揺れが納まるまで待ちます。児童の全生活時間の中で、学校での時間は22%程度しかありません。家庭生活や地域生活の時間帯の方がずっと多いのです。実際に地震が発生したときに校内放送で緊急地震速報が流れる仕組みはないのですが、大人に指示されて動くのではなく自分一人で判断して動けるようにするのがこの訓練の主眼です。

伝統を引き継ぐ

2月9日、5年生（にじいろ学年）から4年生（つばさ学年）への鼓笛隊引継式がありました。大変に立派な引継式で感動しました。

4年生は「伝統を引き継ぐことはカッコいい。楽しい」をテーマに、演奏と共に5年生の素晴らしい態度や心構えを引き継ごうと一人一人が高い意欲を持ち、練習を重ねていましたが、その成果がよく表れていました。



次のように子どもたちに話しました。

「皆さんの挨拶の中に、『伝統を引き継ぐ』という言葉が何度か登場しました。にじいろ学年が残してくれた伝統とは何なのでしょう。音楽としての鼓笛演奏のすばらしさ、心をつききびびとしたまとまりのある集団の動き、そうしたものが一体となったカッコよさについてよいかもしれませんね。5年生の姿が、4年生の心に「次は自分たちの番だ。やるぞ」っていう火をつけてくれたのだと思います。5年生に感謝します。

今日は引継式ですが、5年生が本当に引き継げたかどうかは、今の4年生がこれから次の学年に憧れを持ってもらえるくらいに見附小学校の鼓笛隊を本気で頑張り、そして、来年の冬、次の人たちにしっかり引き継げたときに分かるのかもしれませんが、これからも一つ下のつばさ学年をしっかり見守り、今後最上級生として頑張ってください。

つばさ学年の皆さん、長い間何度も練習を重ねてきましたね。昼休みなどに、5年生から個別に教えてもらっていた人もいたようです。今日の発表はとても立派だったと思います。明日、お家の方からも見ていただきますが、きっと驚かれると思います。この鼓笛隊を通してつばさ学年の皆さんがどのように成長するのか校長先生も楽しみです。頑張ってください。もう一度4年生、5年生、お互いに拍手をしましょう。大変よい引継式でした。お疲れ様でした。」

後日、何人かの5年生に感想を聞いてみました。

リコーダーを引き継いだけれど、演奏を聞いてうまくなったなあと思いました。心をつききびにしてやっていくことが鼓笛には必要だと思います。

初めて教えた時に「難しい」と言っていた4年生とは思えないほどしっかりと演奏していて驚きました。



聴いている人たちに喜んでもらえる演奏をしてください。引き継げて少しホッとしています。

4年生には見附まつりでの演奏を楽しんでほしいです。もう少し鼓笛隊をやりたいなという気持ちです。



安全の日

毎年2月3日に「安全の日全校集会」を行っています。安全の日設定の趣旨の十分な理解を図るために、熟考の上、今回の全校集会では少し踏み込み具体的な話を児童にすることにしました。（以下放送）

見附小学校では毎月3日を安全の日と呼んで、先生方は学校の安全点検を一斉にしています。また、児童の皆さんは、この安全の日に「廊下の歩き方」や「ズックの履き方」などについて自分で点検をしていますね。どうして3日を「安全の日」としているのか知っていますか。

今から16年前。だいぶ前のことになりましたが、2005年の2月3日に見附小学校の児童が学校のプールで命を落とす事故があり、それがきっかけで「安全の日」ができました。その時のことをこれから少しお話しますので、「こわいな」「いやだな」と思った人は、耳をふさいで聞かなくてもいいです。決して無理をしないでください。

三時間目に3年生のあるクラスがグラウンドに出て、雪だるまをつくるなどの「雪に親しむ活動」をすることになりました。大変雪が多い年でした。二日前から連絡帳で「雪遊びをします。2月3日に雪遊びのできる服装をお願いします」とお家の人にも連絡していました。

「さあ、みんなで思い切り雪遊びができるぞ。」クラスの子どもたちは身支度をしてグラウンドに出かけました。

担任の先生は、「雪玉を人の顔めがけて投げません」「危険なことはしません」と子どもたちに話しました。

そして、雪合戦をみんなでやって楽しみました。その後、班ごとに協力して大きな雪だるまをつくりました。作った雪だるまをお互いに見て、感想を発表し合いました。こうして3時間目が終わりました。

4時間目までの休み時間は5分しかありませんでしたが、担任の先生は5分延長して10分にしました。何日も降り続いていた雪が久しぶりに止んで、せっかく外で遊べるようになったのです。「もう少し子どもたちを遊ばせたいな」と考えたのです。

「やったあ。もう少し遊べるぞ。」子どもたちは、グラウンドに広がって思い思いに遊びました。

少したって時間がきたので先生が笛を吹きました。「みんな集まれ!」先生は真っ白なグラウンドを見渡しました。

「よし、グラウンドには誰もいないな。校舎に入りましょう。」担任の先生は子どもたちの一番後ろについて、グラウンドから児童玄関まで歩き、校舎に入りました。

しかし、教室に行き着いている時に、担任の先生が気づきました。

「あれ、あの子がいない。」

着替えが早く済んでいたクラスの子どもに、「その子の下駄箱に長靴が入っているか見てきて」「それから保健室でその子が休んでいないかも見てきて」とお願いしました。担任の先生は教室の窓からグラウンドの方を見渡しますが、どこにも、誰もいません。ほどなく教室に戻ってきた児童が、「先生、下駄箱に靴はないし、保健室にもいませんでした。」と担任の先生に教えてくれました。

「何かグラウンドに忘れ物をして取りに戻ったのかもしれない。」そう考えた担任の先生は、クラスの児童に、「皆は次の準備をして、少し教室で待っていてね。」と言って、グラウンドに走っていきました。

プールの近くに来た時に、担任の先生は、プールに入る階段にたくさん積もった、その雪の上に足跡を発見しました。プールのフェンスも乗り越えられるくらいに、本当にたくさんの雪が積もっていたのです。

「おやっ。まさか行ってはいけないプールの方へ行ってしまったのだろうか。」

足跡を発見した担任の先生はプールサイドに入り、プールをのぞきました。そして、プールに落ちている児童を発見したのです。担任の先生はすぐに水の中に飛び込みました。そして、プールからその子を持ち上げて、プールサイドまで上げようとしたのですが、重たくて上がりません。そこで、担任の先生は持っていた携帯電話で職員室に緊急事態が発生したことを伝えました。職員室から何人もの先生方がプールに駆け付けました。救急車も呼びました。先生方は児童の体を引っ張り上げ、プールから救出して、体育館に運びました。人工呼吸をしたり、毛布で体をくるんでこすって温めたりしました。駆け付けた救急車の隊員の皆さんも懸命に手当てをし、病院に運びました。

しかし、残念ながら亡くなってしまいました。（ここからは全員に聞いてもらいますので、耳をふさいでいる人がいたら手を外すように教えてあげてください。）

朝「行ってきます」と言って家を出て、「おはようございます」と学校に登校して、ついさっきまでクラスのみなどと楽しく遊んでいた児童が亡くなったのです。

こんなに悲しいことはありません。

一度失った命はもう戻りません。ゲームのようにリセットすれば生き返るなどということはないのです。誰かの命と取り換えっこすることもできません。

その子の大切なたった一つの命がなくなった。

先生方は取り返しのつかないことが起きてしまったことを反省し、どうして事故が起きたのか、どうすれば事故は防げたのかを、何度も何度も考えました。そして、「校舎の外に出る活動の時は、いつも人数を確認しなくてはならない。」

「子どもたちだけで校舎から出すのは止めよう。何かあったら助けられない。」「子どもの目線、動線に立った安全点検をしなくてはならない」など、知恵を絞って色々なことを考えました。

一方、子どもたちにも、生活の中で危険から身を守る力を一層つけたいと考えました。子ども自身が、これは危険だと予知できる力、危険を避けて行動する力を身につけさせたい。そして、生活の中から問題を見つけ、改善や解決に努めたり、助け合ったりする思いやりのある仲間づくりを更に進めなければならぬと考えました。そこで毎月3日を見附小学校の「安全の日」として、自分たちの安全について振り返り、考える日としました。……（後略）

私は子どもたちに、単にプールで児童が亡くなった日だということだけでなく、「当たり前」の日常生活や楽しみ、喜びが一瞬で無くなったということ」そして「もう二度と取り返せない命なのであり、生きていることがどれだけ大切なのか」を改めて伝えたいと思い、話しました。

2005年に日本女子大学が全国の子どもに調査した結果、「人は死ぬとどうなるか」という問いに対し、「生き返る」9.2%、「生き返ることもある」12.7%、「わからない」3割強、「生き返らない」はわずかに3割強だったそうです。また、2013年に実施した長崎県教委の調査では、死んだ人が生き返ると回答した児童は15.4%いて、その主な理由は「テレビや映画等で生き返るところを見たから」「生き返る話を本や人から聞いたから」「ゲームでリセットできるから」でした。こんな数字を目の当たりにすると「見小っ子たちは大丈夫だよな。頼むぞ!」という気持ちになります。

また、教員は県の基準により3~5年程度で異動することになっています。事故を体験し、二度と起こすまいと心に決した当時の教員は誰もいません。見小の安全文化が風化しないように、安全の日を契機に改めて教員も児童も学び直していきたいと思います。(かなり長文となりました。お許しください。)

見小っ子の活躍 (書き初め)

令和3年第56回 新春市民書初展 [最優秀賞 1名、金賞 2名、銀賞 3名、銅賞 15名]

【最優秀賞】	1年	2年	3年
	5年		
【金賞】	2年		3年
	4年	5年	6年

新大全国書初大会

【特選】	1年	5年	
【準特選】	2年	3年	4年
	5年	6年	

※新潟県競書大会の結果は、次号でお知らせいたします。

2・3月の予定

- 2月19日(金) 愛育会地区評議委員会(兼新旧引継会)
ふれあいほっとタイム(〜26日)
- 24日(水) 6年生ありがとう週間
- 25日(木) 青空集会(委員会引継式)
- 3月 2日(火) 諸費口座振替日
スクールカウンセラー来校日
創立150周年準備委員会
- 3日(水) 命と安全の日 六年生を送る会
- 4日(木) 音楽集会 委員会(4,5年新体制)
- 11日(木) 委員会
- 12日(金) 町内子ども会 ※ 地区評議委員参加
- 15日(月) 期末大清掃 ①
- 17日(水) 期末大清掃 ②
- 18日(木) 卒業式練習 ①
- 19日(金) 期末大清掃 ③ 4限給食放課
- 22日(月) 卒業式練習 ② 4限給食放課
- 23日(火) 3学期終業式 卒業式前日準備(5年)
- 24日(水) 第74回卒業証書授与式
- 25日(木) 離任式

4・5・6月の予定

- 4月 7日(水) 始業式
- 8日(木) 入学式 2~6年生は給食開始
- 16日(金) 愛育会評議委員会
- 24日(土) 学習参観、愛育会総会
- 25日(日) 愛育会環境整備作業
- 5月22日(土) 運動会
- 27日(木) 全国学力学習状況調査(6年)
- 6月 8日(火)・9日(水) 学年ふるさと遠足
- 23日(水)・24日(木) 修学旅行(6年)

お知らせ

県が配置しているスクールサポートスタッフの勤務が3月19日までに延長されました。また、市が配置している消毒清掃員の勤務が3月24日までに延長されました。教員が子どもと向き合う時間を生み出すうえで学校としては大変にありがたいことです。

